

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-17		公開宣伝事業				
主管課	文化財課	関連課	世界遺産登録推進担当				
分野名	歴史環境						
目標 (目標値)	文化財愛護の精神の高揚を図り、文化財を保護・保存及び公開・活用を推進する。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
運営資源状況	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数						
	決算値(千円)	725	676	725			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	725	676	725			
	人員配置数	0.5	0.5	0.5			
人件費(千円)	4,845	4,813	4,749				
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	5,570	5,489	5,474			
	市民1人当りの経費(円)	31	31	31			
対象者1人当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
鎌倉市遺跡調査会・研究発表会観客数	◎	目標値	280	280	280	280	840
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	280	280			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
公開宣伝事業	275千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	郷土芸能大会、遺跡調査・研究発表会、埋蔵文化財の出版等を実施し、文化財愛護精神の高揚を図り、文化財を後世に伝える。		
公開宣伝事業	450千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒	□A □B □C □D ■E
	事業の概要	玉縄城址まちづくり会議と協働事業で玉縄民俗資料館のリニューアルを実施。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	文化財課総合システムの情報公開ができていない。			
課題解決のための取組	アルバイト等を活用し、93条の届出及び発掘調査の情報を入力する。			
未解決の課題	郷土芸能大会の観客は、関係者が多い状況となっている。			
今後の方針	郷土芸能大会の開催場所を鶴岡八幡宮へ変更し、関係者以外の観客の増大を図る。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒	A	※ □事業完了	課長名 小林 正敏

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
公開宣伝事業	主な個別事業	171 鎌倉の埋蔵文化財14	309	0	■適切 □見直し余地あり
		171 郷土芸能大会ポスター等	170	154	■適切 □見直し余地あり
		171 市指定文化財標柱等設置業務委託	196	111	■適切 □見直し余地あり
		171 指定文化財等説明板設置業務委託	200	0	■適切 □見直し余地あり
公開宣伝事業	主な個別事業	172 玉縄民俗資料館リニューアル事業負担金	450	450	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり